

二町内自治会新聞

国民の選択

『選挙』②

選挙制度がなかった時代

皆さんもご存知のように江戸時代には、選挙制度のような物は、有りませんでしたね。

士農工商という身分制度が有り、七分の一の武士が支配階級でした。武士は、司法、立法、行政の三権を独占してしまっていたので絶大な権力を持っていた。

従って、上意下達と言って武士の決めた事は、絶対でいやな事でも従わなければ成りませんでした。しかし我慢にも限界があり、直訴や土一揆を起す事もありました。

この二つの行動は、天下のご法度でしたから成功不成功に拘わらず死罪でした。現在の世の中とは大変な違いですね。

この様に自分達の考えを通そうとすれば命がけでやらなければなりません。

んでした。

江戸から明治の世へ

明治の世は、封建社会から近代国家へ脱皮する為の時代ですね。これに失敗すれば他のアジア諸国と同じようにヨーロッパ列強の属国が領土になつていたことでしょう。

幸いこの困難に当たり、自分の命を投げ打って願わない若者達が次々に現れ江戸から明治へ、そして日本の近代化を強力に進めてくれました。

近代化を進める上で根幹を成す物は、民主主義でした。主権在民として国の政治は、国民の利益にかなう物でなければなりません。そのためには、政治に携わる人達を選んだり、不適当ならそれを罷免する権利が国民に必要となります。それが選挙権ですね。

事務局
村上徹郎
Tel
368-5384
住所
健軍本町
26-3

選挙制度の歩み

明治憲法下では、一定以上の納税者の事を公民と言つて、この人達にのみ選挙権が与えられました。当時日本は、発展途上の国で国民の大半は、貧乏でしたから選挙権を持った人は一握りの人達でした。

自由民権運動が活発になり選挙権の枠も広がられて行きました。それでも女性には、選挙権は与えられませんでした。

四民平等と言いながら納税額によつて又男女の違いによつて選挙権が与えられないと言ふ事は、差別であつて本当の民主主義とは言えませんね。

女性に選挙権が与えられたのは、第二次世界大戦後現在の平和憲法が出てからの事ですね。我々は、現状を当たり前の事と思つていますが『板垣死すとも自由は死せず』と言つて凶弾に倒れた人達のお陰である事を忘れてはならないと思

国民の選択

過つて日本は、ヒットラーが率いるナチスドイツ、ムッソリイニ率いるイタリアと三国同盟を結び世界を相手に第二次世界大戦を起しました。その結果日本は、近隣諸国に多大の迷惑をかけたし、日本人自身も数百万の犠牲者を出しました。最後には、広島、長崎に原爆が落とされ一挙にして数十万の尊い命を失いました。

その当時三国とも選挙制度は有りました。結局国民の選択が間違つていたと言ふ事になります。

国民が選挙を甘く見て、棄権したり、いい加減に考へていふと第二次世界大戦の二の舞を引き起こし兼ねません。この様な愚かな事を繰り返してはならないと思ひます。

国民の暮らしを豊にし又希望の持てる日本にする為には、先ず国民の一人一人がもつと政治に関心をもちそして積極的に参加する事その第一歩が選挙権の行使だと思ひます。

道路補修工事

自治会では、熊本市に對して町内の皆さんの要望や町内の不備な点につきまして、優先順位をつき毎年要望書を出してお

ります。数年来地蔵さんの交差点から真光寺に至る道路を一位に挙げ要望してききました。今年は、周辺住民の署名まで集めてお願いしましたが駄目でした。東部土木センターの話では、問題の道路の冠水状態の写真が必要だと言ふ事でした。それに側溝の拡幅工事は道路舗装と比べ何倍にも費用がかさむと言ふことでした。又来年も要望第一位で出す積りですが次回は問題の写真も付けて出したいと思ひます。道路の冠水状態の写真をお持ちの方が居られましたら自治会長へお貸し下さい。今年、要望第二位の道路が工事中です。上村開発が進めている回覧に示す道路です。

県庁通り交差点サンライズビルと清田時計店を結ぶ交差点に付きましては

は、十月号で紹介しました。十二月の中旬より工事が始まり二月までには信号の取り付け工事が終るそうです。

公園の花植え

十二月十二日老社と自治会（公園愛護会）でパンジーの苗八百本を公園の花壇に植えました。春には、綺麗な花を咲かせてくれる事でしょう。皆で大事に育てましょう。阿蘇拝場の花壇にも自治会と祭りのメンバーでパンジーの苗百本を植えました。

共同募金について

二十二の隣保よりご協力があり五万五千九百円の募金が集まりました。早速日赤の方へ入金しておきました。有難う御座いました。

ラジオ体操クラブ

ラジオ体操も三回目の冬を迎えましたがメンバー全員寒さに負けず頑張つております。年が明けて新年会も計画しております。早起きは、三文の得参加を待っています。